

令和7年度 盛岡市立高等学校 第2回学校運営協議会 議事録(概要)

令和8年2月12日(木) 15:00~17:00

盛岡市立高等学校 会議室

《学校運営協議会委員》

上白石実委員、佐々木美子委員、佐々木重喜委員、幅野崇久委員、宮崎俊委員、
中野亜希子委員、西山広美委員、工藤昭敏委員、北島亨委員(学校職員)、
青井千明委員(学校職員)【出席10名、欠席2名】

《学校職員》

三田正巳校長、佐藤守副校長、千葉浩副校長、菅原真理事務長

《生徒会執行部》

会長：杉村 副会長：藤沢 議長：遠藤 庶務：山崎 会計：三上

《マイプロジェクト発表者》

2-1 紺野 2-1 木村 2-1 山澤 2-1 山崎

1 開会 *全体進行(副校長)

2 校長あいさつ

3 参加者自己紹介【p.1】

4 協議(議長：上白石会長)

(1)令和7年度経過報告について(副校長)

- ①令和7年度生徒の在籍状況について(資料P2の通り説明)
- ②主な行事・事業について(資料P2~4の通り説明)
 - ・令和7年度卒業生進路動向について(資料P5~6の通り説明)

《質疑》

Q：トイレの洋式化について、どうなっているか。

A：トイレ工事は大規模工事になるため、令和9年度に実施設計委託を実施、令和10~11年度で整備完了予定。

Q：進学者が増加しているが、大学と専門学校との割合はどうなっているか。

A：大学から専門学校に変更する者もいるが、希望は大学進学希望者が多い。

Q：進学希望者が増加していることは、本校に限るものなのか、他校はどうか。

国公立大学の合格者が少ないがどうしてか。

A：進学希望者は増加傾向にある。国公立大学の合格者は2月現在のもので、これから増える。

Q：課外の実施についてどうなっているか。

A：昨年度までは全員が参加していたが、今年度から希望者のみの参加となっている。

委員：体験談であるが、昨年度まで娘が在籍していたが、進路について、大変苦労した。希望大学について、推薦を希望していたが校内選考で選ばれなかった。学校の授業だけで国公立に入れれないと思うが、部活動に力を入れているためか、課外の時間を取りにくいのかと感じた。

(2)学校運営計画の達成状況について(校長)

- ・令和7年度 盛岡市立高等学校 学校経営計画「スクール・ミッション 2025」(資料P7)
- ・第1回学校運営委員会校長資料「具体的な取り組み例」から (資料P8)
- ・学校経営計画における「主な目標指標」について(資料P9)

(3)令和8年度学校経営計画について(校長)

学習については、授業と課外を含めて指導しているが、280名もの生徒がいるので、一斉指導だけでなく、スタディーサプリやA Iドリルなどを活用して家庭学習に取り組んでいる。また、盛岡の地域性から塾に通っている生徒もいる。盛岡以外の地域では、学校で全てを指導することが多いが、本校では、家庭での考えもあり、塾等も活用することもある。学校とし

ては、個別の指導を大切にし、生徒一人一人に対応した指導に努めている。令和8年度は、家庭との連携と個別指導を重視していきたい。

《質疑》

Q：いじめアンケートを実施しているが、実際にいじめはあったのかどうか。アンケートの内容について、いじめを認知はしているのか。

A：いじめについては、認知はしている。ただ、重大事案はない

委員：大学で入試の面接を担当しているが、男子生徒のマナーができていないように感じる。マナーができていない生徒は、外部の大人とよくコミュニケーションを図っているようだ。他校の例になるが、他校では、相手を不快にさせてはいけないことを指導されているようだ。本校は外部の社会人と接触や連携ができていますのでよいことだと思う。

(4)その他 特になし

5. 意見交換(主なものを抜粋)

◆委員・生徒を4グループにし、25分ほどグループ内での意見交換を行った。

《テーマ》

(ア)本校の魅力または本校生徒の強み

- ・ 大規模校の強み、多様性に富む
- ・ 進学から就職まで幅広く対応できる体制が充実 多様なコースがありサポートが充実
- ・ 地域企業との強いつながり
- ・ 部活動全国レベルでの活躍 文武両道に励んでいる 部活動を軸に活気のある学校
- ・ 盛岡市との距離が近く声を届けやすい
- ・ 校則の見直しに取り組んでいる 生徒が自ら学校をよくしようと取り組んでいる
- ・ ICTが活発に使われている DXハイスクール事業で、時代に応じたスキルが学べる

(イ)本校の課題

- ・ 校舎・設備の老朽化(複数人)
- ・ ICT機器を日常的な活動にどう結びつけていくか
- ・ 保護者との関わり PTA活動の吟味が課題
- ・ 校則の改正
- ・ 県内唯一の市立高としてのブランド化 どこ身も負けない魅力づくり
- ・ 来校者への挨拶
- ・ 7時間目の在り方、文武両道
- ・ いじめ・暴力・SNSトラブルなど起こりうる

(ウ)本校の未来像または本校に期待すること

- ・ 地域に戻ってくる人材育成 各分野・方面で活躍する人材育成
- ・ 110周年に向けての市立の未来への土台の再構築
- ・ 盛岡市と密接に連携した学びの場の提供
- ・ 設備への投資
- ・ 生徒個々の長所を伸ばすために褒めることが大切 生徒の声を聴いてくれる学校
- ・ 校則改正 スマホ・Aiのモラル

6. その他

(1)旅費・報酬について

(2)令和8年度学校運営協議会委員について

- ・ 4月以降に役職・所属等が変更となり、委員が変更となる場合はご一報ください。また、後任の方が決まりしだいご連絡をお願いします。
- ・ 委員の任期は2年(令和9年3月まで)。残りの任期を引き継ぐこととなります。

(3) 令和8年度学校運営協議会の開催（予定）について

- ・（案）第1回6月1日（月）、第2回8月29日（土）【桜窓祭】、第3回2月15日（月）
- ・ 新年度、日程が決定しだい、改めてご案内します。

《感想等》

委員A：生徒とコミュニケーションがとれてよかった。

委員B：学生と討論ができて良かった。今後も連携をとっていきたい。

委員C：マイプロジェクトの発表がとてもよかった。このような機会を多くしてほしい。
盛岡市がメインだとは思いますが2年生のフィールドワークについて滝沢市もウエルカムである。

委員D：生徒の話聞いて未来は明るいと感じました。

委員E：授業以外の声を聴けてとてもよかった。

委員F：文化祭でもこのような機会を設けたが、今後もこのような機会を設けてほしい。

委員G：職員に期待したいことがある。生徒をもっと褒めてほしい。悪いところを見つけて、怒ることはあると思うが、もっと生徒の良いところを見つけて褒めてほしい。

委員H：生徒から、いろいろな話が聞けてとても良かった。将来のことについて考えている姿や目標が決まっていることを聞けて良かった。

委員I：校長先生の資料をみて、学校の姿を知ることができた。110周年を見据えて盛岡市立高校の在り方について考えていきたい。校舎は43年目と古いが、生徒の新しい姿を見つめていきたい。盛岡市立高校の生徒が盛岡市民に愛されるような学校になって欲しい。

7. 閉会